

「特別の教科 道徳」をめぐる世論に関する一考察

—SNS 分析を題材として—

伊藤 陽（広瀬ゼミナール）

論文の目次

1. はじめに
 - 1-1. 「特別の教科 道徳」成立の歴史的経緯
 - 1-2. 背景
 - 1-2-1. 「道徳の時間」からの変更点
 - 1-2-2. 「特別の教科 道徳」といじめ問題
 - 1-3. 意義
2. 目的と調査方法
 - 2-1. 目的
 - 2-2. 選定理由
 - 2-3. 調査・集計方法
3. 結果
 - 3-1. パブリックコメントの抽出語リストと共起ネットワーク図
 - 3-2. パブリックコメントの具体的な内容
 - 3-2-1. 「特別の教科 道徳」について賛成意見と反対意見
 - 3-2-2. 評価と教科書について
 - 3-2-3. パブリックコメントの意見概要から見られた特徴まとめ
 - 3-3. Twitter の抽出語リストと共起ネットワーク
 - 3-4. ツイート内容
 - 3-4-1. 「特別の教科 道徳」について
 - 3-4-2. 学校や教育について
 - 3-4-3. 政治関係について
 - 3-4-4. その他のツイートについて
 - 3-4-5. ツイートから見られた特徴まとめ
4. 考察

- 4-1. 二種類の忌避感情
 - 4-1-1. 歴史的視点の忌避感情
 - 4-1-2. 政治的視点の忌避感情
 - 4-2. 「特別の教科 道徳」と全体的な世論
 5. おわりに
- 謝辞
- 参考・引用文献
- 付録

論文の要旨

1 本稿の目的

2018 年度から小学校で、2019 年度から中学校で「道徳の時間」に代わって「特別の教科 道徳」の授業が開始されることとなった。様々な問題解決を目的に教科化されたが、戦前以降の歴史的背景から、人々が道徳教育に対して道徳アレルギーがあることが指摘されている（田沼 2015）。

本稿では人々が「特別の教科 道徳」に対してどう考えているかを明らかにし、公的な意見と私的な意見の 2 つを合わせて世論をある程度把握することが目的である。

2 調査方法

本稿では公的な意見として、2015 年に募集されたパブリックコメントを扱う。私的な意見は SNS を用いて明らかにする。対象とする SNS は Twitter であり、その選定理由はリツイートなどの機能的特性から人々

の反応の調査に最適であること（大澤 2021）と、ツイートから世論をある程度把握できる（佐藤 2016）ためである。この2つを用いて、考察を行っていく。

3 結果

パブリックコメントから見られた特徴は3点あり、1点目は「特別の教科 道徳」について、否定的な意見ばかりではなかったことである。2点目は価値観の押し付けの可能性を疑われていることである。3点目はいじめへの効果を期待していることである。

Twitter から見られた特徴は6点あり、1点目は、「特別の教科 道徳」による思想や価値観の押し付けに対する不安が見られたことである。2点目は「特別の教科 道徳」の検定教科書については教材の批判が多かったことである。3点目は「特別の教科 道徳」は教員多忙の大きな原因となっていることである。4点目は「特別の教科 道徳」は政治的なツイートに多く使われていることである。5点目は今回集めたツイートの中では「特別の教科 道徳」がいじめに効果があると思っている人はいない、ということである。6点目は「特別の教科 道徳」に対しての肯定的な意見がほとんどみられないということである。

4 考察

今回の結果から歴史的視点からの忌避感情と、政治的視点からの忌避感情という2種類を読み取ることができた。前者は田沼で指摘されていたものがいまだある、ということだと考えられる。人々の、「修身」の影響から価値観の押し付けを不安視している声が多く見られた。また、教科書に載って

いる教材が価値観の押し付けを思わせるもので、そういった教材の影響から人々の不安はいまだ残っていると考えられる。

後者は、特に安倍政権に対しての意見であり、国民たちの不信感が表れていたと考えられる。さらにこのことから、歴史的な背景のように道徳教育と政治は切り離して考えることが難しいといえることができる。

また、「特別の教科 道徳」に対して肯定的な意見はほとんど見ることができなかったため、全体的な世論としてはとても否定的であるといえることができる。

5 おわりに

今の否定的な評価を肯定的なものに変えていくのは簡単なことではないため、教師たちの授業の成果にかかっている。しかし教師たちは多忙であるため、満足に授業の準備に時間をかけることができない。この多忙を解決することができれば、この課題を解決することにつながると考えられる。

さらに、様々な領域の研究者たちが研究を進めることでも解決策が提示されていく可能性があるので、研究動向に注目していきたい。

主要参考文献

佐藤卓巳, 2016, 「世論調査の『よろん』とは？」『放送メディア研究』(13): 26-40.

田沼茂紀, 「『特別の教科 道徳』が克服すべき課題とその解決法策の検討—道徳教育忌避感情および軽視傾向改善を中心に—」『道徳と教育』333: 145-152.